



冬のぽかぽかスープレシピ (栄養科 管理栄養士)

今回はキムチを使った寒い冬に身体を温めるスープレシピをご紹介します。
キムチの辛み成分であるカプサイシンは血流を良くし、身体を温める効果があり、冷え性の改善にも期待できます。
またキムチには多くの乳酸菌が含まれており、腸内の善玉菌を増やし腸内環境を整えてくれるため、便秘解消・美肌効果にもつながります。
味噌を加えることで味もまろやかになるため、辛いのが苦手な方にもおすすめです。
この冬、ぜひ一度お試しになっては。

ピリ辛味噌チゲスープ (2人分)



材料

豚こま肉	50g
大根	50g
えのき	20g
もめん豆腐	1/6丁
ニラ	10g
油	中さじ1
*キムチ	50g
*鶏がらスープ	小さじ1
*水	300ml
味噌	大さじ1

栄養量 (1人分)

エネルギー	140kcal
たんぱく質	9.0g
脂質	9.7g
炭水化物	5.7g
食物繊維	2.1g
塩分	2.1g



作り方

- ① 大根はいちょう切り、えのきは 1/2 の長さ、木綿豆腐は一口大、ニラは 4 cm程度に切っておく。
- ② 鍋に油を引き豚肉を炒め、残りの材料を全て入れる。
- ③ ②を軽く炒めたら*を加え、10～15分程度煮る。
- ④ 最後に味噌を溶いて完成。



年頭所感



大分中村病院
理事長 中村 太郎

新年あけましておめでとうございます。

去年は5月の移転新築プロジェクトの安全祈願祭に始まり、8月には東京パラリンピック開会式で聖火ランナーを担当させていただき、当院から5人の医療スタッフを派遣、11月には1981年の第1回より支援してまいりました大分国際車いすマラソンが40回記念大会をフグ選手の世界新記録で終え、とても思い出深い年になりました。

当院は創設者であり父の中村裕が、1964年の東京パラリンピックで日本選手団長を務め、1965年に障がい者の働く場として太陽の家を創設した翌年の1966年に開設され、今年で56年目を迎えます。

半世紀前に先人たちが困難な中、築いてくれた他病院にはない、パラリンピックなどグローバルな歴史と、新病院で掲げている二次救急医療とリハビリテーションによる地域包括ケアシステムのハブ病院になるというローカルな目標と、過去と未来、そしてグローバルとローカルの両面をしっかりと引き継ぎ、そして発展させ、困っている人を助ける(医療による社会貢献)を理念に共生社会実現に想いを抱き、2022年も歩んでまいります。

新病院のグランドオープンには2024年1月を予定しています。

本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



大分中村病院
院長 七森 和久

新年あけましておめでとうございます。

私が院長に就任したのは2019年4月1日でした。早いもので、今年で3年目を迎えます。就任当初はこの先に新型コロナウイルスが待ち受けているなど、当たり前ですが全く想像していませんでした。大分中村病院移転新築プロジェクトに加え新型コロナウイルスによるパンデミック。院長就任と同時に課題が次々と降りかかる中、なんとかこの難局を乗り越えようともがいた2年でした。

昨年秋頃に全国の新規感染者数は減少に転じましたが、新たな変異株(オミクロン株)の感染者が国内でも確認される等、まだまだ油断のならない状況が今年も続きそうです。病院に入られる際の検温、手指消毒、マスク着用、面会禁止等、皆様には大変ご不便をおかけしますが、当院を安心してご利用いただくためにも引き続きご協力をお願い致します。

そんなコロナ禍の中でも、当院の移転新築プロジェクトは順調に進捗しています。昨年の5月には安全祈願祭を執り行い、9月には既存基礎工事の解体工事に着手しました。1月末には起工式を行う予定で、工事が順調に進めば今年の秋頃には仮囲いの上に建築中の建物が見えてくるようになります。建物の完成は2023年10月、移転開業は2024年1月を予定しています。

今年もまた新たな問題が押し寄せてくるでしょう。どのような状況にあっても職員一丸となり、医療人としての誇りを忘れることなく立ち向かっていきます。2022年も大分中村病院にぜひご期待ください。今年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



社会医療法人 恵愛会 **大分中村病院**

〒870-0022 大分市大手町3丁目2番43号 TEL:097-536-5050 (代)

『よりそう』vol.16 2022年冬号 (2022年1月15日発行)

発行責任者 / 中村太郎 編集担当者 / 総務部 (羽田野) <http://www.nakamura-hosp.or.jp>

病院 HP は
コチラから





再来受付機、自動精算機を導入しました

当院では、2022年1月1日(土)より、電子カルテシステム更新に伴い、『再来受付機』および『自動精算機』を導入しました。導入後しばらくの間は、操作の不慣れや受付・会計などの流れの変更により、当院ご利用の皆様には大変ご迷惑をお掛けしております。混乱のないように職員一同努めますので、何卒ご理解とご協力をお願い致します。

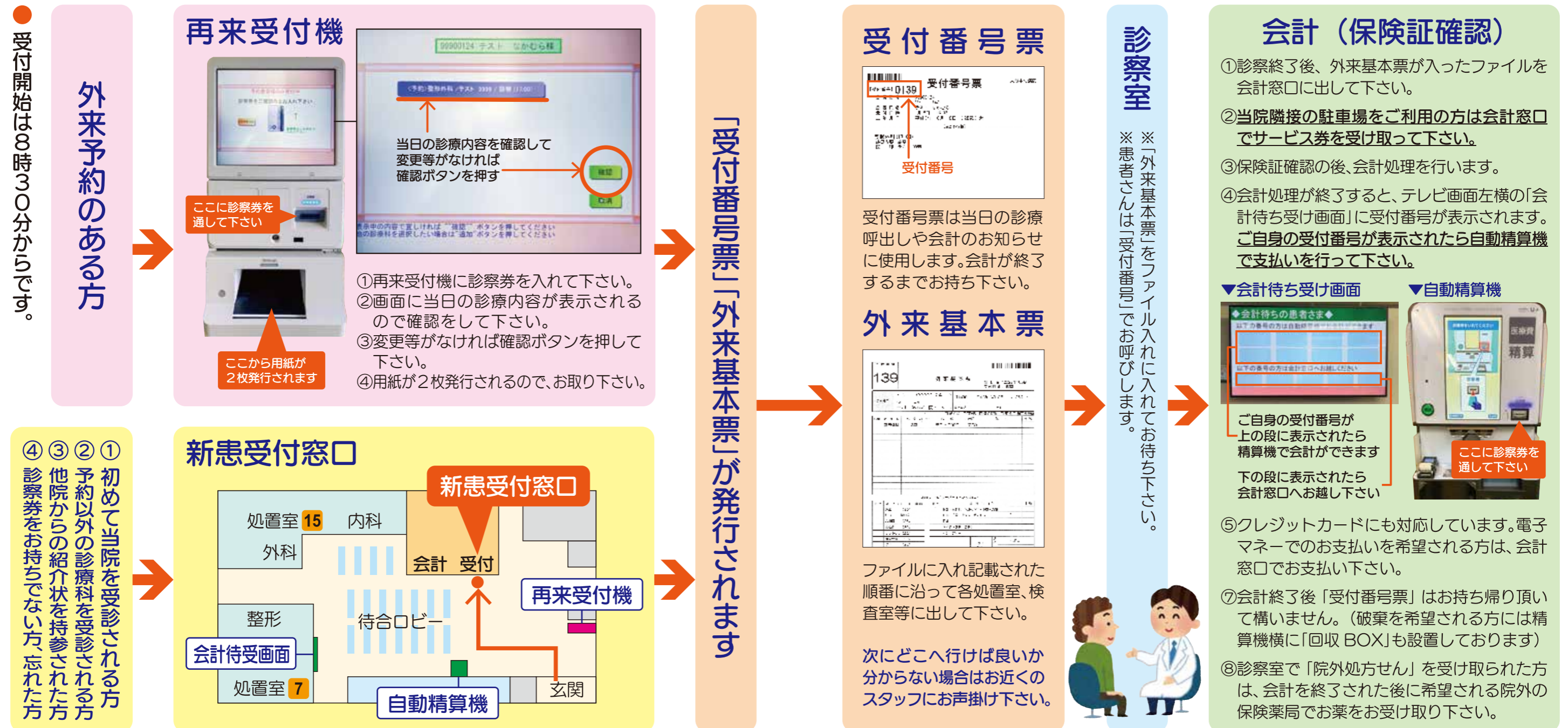
※2022年3月より患者さんが診察券を紛失し再発行を希望される場合は、手数料(500円)がかかります。

※診療は予約されている患者さんが優先されます。予約なしで来院された場合は、長時間お待ち頂くこととなりますのでご了承ください。

※毎月初めの受診時に保険証・受給者証等を確認させていただきますので、受付窓口(保険証確認窓口)にご提示をお願いします。



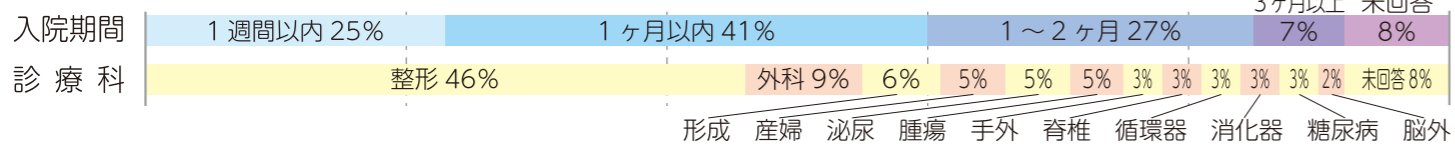
受付から会計までの主な流れ





当院では2021年12月に入院患者満足度調査を実施しました。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

回答者数：118名(男性：56名、女性60名、未回答2名)

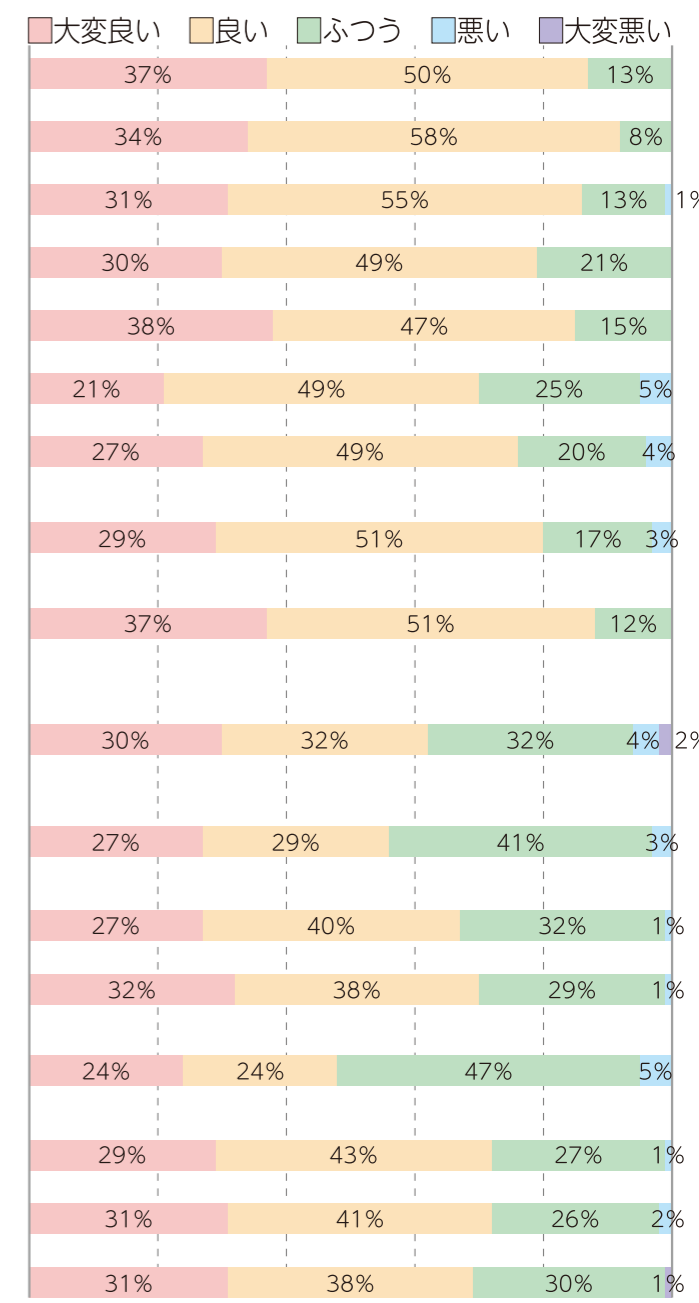


※以下の集計結果に未回答は含まれておりません。



リハビリテーションについて

- 療法士の言葉づかいはいかがですか？
- 療法士の態度はいかがですか？
- 療法士の身だしなみはいかがですか？
- 療法士の説明はわかりやすいですか？
- 療法士は話を親身になって聞いてくれますか？
- リハビリの時間割(スケジュール)は満足されていますか？
- リハビリ提供内容は満足されていますか？
- 日曜日・祝日にリハビリを受けた方にお尋ねします。日曜日・祝日のリハビリ提供内容は満足されていますか？
- 療法士に信頼感を持てますか？



その他の職員について

- 薬剤師からのお薬の飲み方や効能などの説明はわかりやすかったですか？
- 薬剤師の説明を聞いて薬に対する不安や疑問は解消されましたか？
- 放射線技師の検査部位に対する確認は十分でしたか？
- 心電図・脳波等の検査に関する対応は十分でしたか？
- 栄養指導を受けられた患者さんにお尋ねします。栄養士の説明は十分でしたか？
- 職員の言葉づかいはいかがですか？
- 職員の態度はいかがですか？
- 職員の身だしなみはいかがですか？

大分中村病院CS委員会では、外来・入院患者さんを対象にアンケート調査を実施しています。今回も皆様から多くのご意見をいただきました。評価の高かった項目につきましては、私たちの励みになり、更に向上するよう取り組んでまいります。また評価の低かった項目やいただいたご意見・ご要望につきましては、改善していけるように努めてまいります。当院では、医療サービスの改善および質の向上のために努力することで、より一層の期待に応えられる病院づくりを目指します。今回のアンケート調査の結果を真摯に受け止め、今後もより良い病院づくりに努めます。

(CS委員会)





第40回記念大分国際車いすマラソン大会 40回永続功労賞を受賞しました

2021年11月21日(日)、第40回記念大分国際車いすマラソン大会が開催されました。当院からは医療サポートとして、リハビリテーション科統括部長の黒木洋美医師が大会医療統括責任者を務め、医務担当として中村理事長と豊永藍子看護師が、大分市宮陸上競技場内に設置されたテント内で選手たちの救護に当たりました。また、大会前日に行われた開会式において、第1回大会から連続出場した選手や大会を支え続けた団体に贈られる「40回永続功労賞」を受賞し表彰を受けました。

大分国際車いすマラソン大会は、当院創設者でもある中村裕博士からの「世界初の車いす単独のマラソン大会を」という提唱により1981年にスタートしました。これまでに78の国と地域から延べ約1万1600人が参加しています。

万が一のケガや緊急事態に備えての医療サポートはとても重要です。また、コロナ禍の中での開催ということもあり、感染対策も重要となってきます。当院は今後も選手の皆さんが安心・安全にレースへと臨めるよう、医療面からサポートしてまいります。



左から、黒木医師、中村理事長、豊永看護師

障がいのあるアーティストが描いた作品を展示 大分ライフアートミュージアム

大分中村病院では、現病院の老朽化・狭隘化の解消と療養環境の改善に向け、新病院プロジェクトを遂行しています。

2021年8月からは河川側の外構解体工事および国道側の花壇解体工事に着手し、9月には既存基礎の解体工事も始まりました。様々な工事の着手に合わせ、9月中旬頃には仮囲い(工事期間中に現場外周に設置される防護板)が設置されました。

仮囲いは新病院完成までの期間、障がいのあるアーティストの表現を発表できる場「大分ライフアートミュージアム」として活用して頂くことになりました。2021年10より国道197号線沿いに10点の作品を展示しており、1月下旬頃には、大分川沿いの仮囲いに9点の作品を展示する予定となっております。

工事が順調に進み実際に建物が目に見える1階の立ち上がりは、来年秋頃になる見込みのため、それまでは障がいのあるアーティストの皆さんが描いた作品が、道行く人の目を楽しませてくれることでしょうか。この「大分ライフアートミュージアム」は仮囲いを撤去するまでの約2年間継続する予定です。



地震体験車で震度7の揺れを 体験しました

2021年11月29日(月)、令和3年度第2回目の災害訓練を実施しました。今回は震度5強の地震発生後、病棟談話室のコンセントからの出火を想定して行われ、地震発生時の点検・報告訓練と、火災発生時の(初期)消火・通報・避難訓練を実施しました。

また訓練後には、地震体験車による地震体験を実施しました。医師や看護師、コメディカルなど約40名の職員が参加し、最大震度7の揺れを体験しました。初めて体験する人がほとんどで、予想以上の揺れに多くの人が驚いていました。将来起こり得る地震に対して、実際に医療現場で遭遇した時に、どのような備えが必要になるのかを考える良い機会になりました。

ご協力いただいた大分市消防局の皆さま、ありがとうございました。



2021年度 永年勤続者表彰式を行いました

2021年12月10日(金)、当院6階研修室において2021年度永年勤続者表彰式を行いました。

今年度は勤続5年が23名、10年が15名、15年が8名、20年が4名、25年が4名、30年が2名、35年が1名、40年が1名の合わせて58名を表彰しました。

中村理事長が代表者に表彰状と記念品を授与し、祝辞を述べました。

次に、被表彰者を代表して勤続30年の阿南秀信放射線技師が、「病院の移転新築という大きなプロジェクトを迎えますが、職員一同、東京パラリンピック開会式のテーマでもあったWE HAVE WINGS、私たちには翼がある『必ず、乗り越えていける』この言葉を胸に団結し、ミッションの達成に向けて、邁進してまいります」と謝辞を述べました。

